

ディスカッションのプロセスの評価法を探る ～ディスカッションの収録場面の分析を通じて～

「自律型対話プログラムによる科学技術リテラシーの育成」研究プロジェクト
(LSSL: Learning Science for Science Learning) ATR・関西学院グループ

ディスカッションの実践・収録

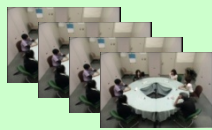
【概要】大学生6名 {理系(3名), 文系(3名)} による合意形成型ディスカッション

- 身近な情報技術を題材に 「Youtubeは規制すべきか, するならどのような方法で?」
「監視(防犯)カメラは設置すべきか, するならどのような条件で?」
「大学のレポート課題でWikipediaの利用を認めるべきか, 認めるならどのような形で?」
 - 1グループ3回のディスカッションを以下の3つの条件で実施(各3グループ)
①支援なし ②1回目に支援あり ③2回目に支援あり
- 計27ディスカッション(3条件×3グループ×3回)を収録

“プロセス”評価法の探求

場面の評価と議論のプロセス間による
プロセス評価法の確立

8分間の場面を選定



印象評定を実施

場面の活発さ	議論の多角さ・統合性	参加者の関係性	議論の展開・洗練	参加者の誠実さ	
明るい	1.049	-0.068	0.075	-0.177	-0.088
にぎやかな	1.017	-0.080	0.951	-0.185	0.002
打ち解けた	0.004	-0.092	0.79	0.038	-0.012
積極的な	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
参加している動きのある	0.598	0.003	-0.043	0.190	0.233
自然な	0.538	-0.059	-0.043	0.329	-0.198
開かれた	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
スムーズな	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
余裕のある	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
視野の広い	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
真剣な	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
注意深い	-0.110	0.609	0.118	0.174	0.14
中立な	-0.029	0.587	0.202	-0.232	-0.097
コンパクトな	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
多面的な	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
共通した	0.170	0.020	0.525	0.055	-0.010
均一な	0.036	0.095	0.479	0.031	0.130
共有している	-0.162	-0.010	0.481	0.084	0.003
一貫した	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
直接的な	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
協調的な	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
対等な	-0.048	0.271	-0.097	0.534	0.061
建設的な	-0.035	0.344	0.009	0.514	0.027
発言している	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
吟味された	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
細かい	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
整然とした	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
深まりのある	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
心からの	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
固執した	0.221	0.582	0.22	0.039	-0.030
因子発露	5.777	2.704	2.194	2.094	1.044
発露率	18.6%	8.7%	7.1%	6.8%	3.4%

場の活発さ

議論の多角さ・統合性

参加者の関係性

議論の展開・洗練

参加者の誠実さ

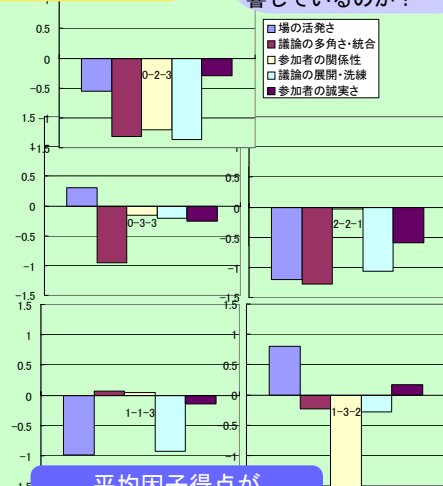
因子分析

因子≒評価軸として抽出

各場面ごとの評価

プロセスと評価との関係性を分析

各評価軸のプラス・マイナスは、どのような話し合いプロセスが影響しているのか?



平均因子得点がプラス方向の場面

平均因子得点がマイナス方向の場面

※因子得点のプラス・マイナスは必ずしも評価の良し・悪しではない

支援方法の探求

支援型ディスカッションの体験効果を検証
自己評価(事後&後日アンケート)
他者評価(印象評定)

効果的な支援方法の提案へ

議論のプロセスの表現:
場面内の発言を
話題と発言者でグラフ化
受け方のタイプで分岐

“プロセス”評価法の具体化へ

“プロセス”評価チェックポイント

- ◆場の活発さ
 - ・受け手の多様さ
 - ・受け手の非言語行動
 - ・発言の積極性
 など
- ◆議論の多角さ・統合性
 - ・多様な視点の提示
 - ・多様な視点の集約
 など
- ◆参加者の関係性
 - ・受け手反応の即時性
 - ・対立意見の提示
 - ・対立意見の提示の仕方
 など
- ◆議論の展開・洗練
 - ・発言の受け方
 - ・論点の移行の仕方
 - ・発言の深堀の有無
 など
- ◆参加者の誠実さ
 - ・聞く姿勢
 - ・受け手となるとき態度
 など